

情報セキュリティマネジメント運用

情報セキュリティマネジメント人材育成のために

情報セキュリティマネジメントを有効活用するうえで求められる「運用方法」を学習します。部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法などに関し、情報セキュリティマネジメントの観点から学習します。

受講対象者

1. 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方
2. 主体的に作業を行えることを目指す方
3. IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方

前提知識

1. 研修「情報セキュリティ技術概要」を修了している。
2. または、上記内容と同等以上の知識を有している。

情報セキュリティ技術概要

初級

情報セキュリティマネジメント構築

中級

情報セキュリティマネジメント運用

中級

情報セキュリティマネジメント評価・改善

中級

実施概要例

| 時間 | 研修項目 | 概要 |
|-------------|-----------------------|---|
| 10:00-11:30 | 情報セキュリティマネジメントシステムの運用 | 部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業 |
| 11:30-12:30 | <昼食> | - |
| 12:30-14:00 | インシデントへの対応 | 部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に従った適切な行動 |
| 14:10-16:10 | ケーススタディ | 運用において重要である、インシデントの種類に応じた状況の把握と判断および初動、緊急対応、緊急対応後の措置、報告 |

※ 状況により、内容や時間や順序が変更となる場合がございます。

■ ケーススタディに関して

1. 目的
組織内でインシデントをどの様に捉え対応をどうすべきかを修得することです。
2. 内容
想定したインシデントに対する最適な緊急対応、緊急対応後措置、報告内容を検討し、一覧を作成します。

■ 研修内容とスキル

■ 本研修コース修了者の取得スキル項目

| 研修項目 | 取得スキル項目 | iコンピテンシディクショナリ(注1) 分類 |
|-------------------|-------------------------|------------------------|
| 情報セキュリティマネジメントの運用 | 情報倫理とセキュリティ | (非機能要件) セキュリティの基礎技術 |
| | セキュリティ障害(事件事故/インシデント)管理 | (非機能要件) セキュリティの利用技術 |

(注1) 企業においてITを利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の能力や素養(スキル)をIPAが「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができます。

※ 参考URL : https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/icd.html

～ お問い合わせ先 ～

- 担当 : セキュリティプラットフォーム部 第1グループ
- mail : 弊社ホームページの「お問い合わせ」をご利用下さい。
- TEL : 03-3496-1674 (営業担当直通)
- URL : <https://www.cichdgroup.com/>
- 住所 : 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-16-4 (本社)



【本資料の無断転載・複製・複写を禁じます】